第180号　1909. 8. 6.

明治四十二年八月六日　（金曜日）　第百八十號（一）

明治十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

日本と極東

露國ルースキイ、ウエドモスチ新聞所說に曰く、久保田氏の「滿洲の產業と貿易」に苟も眼極東に於ける最近十年間の政治狀態は歐洲を滿洲の貿易に注ぐものゝ讀むべき文字なり（第十卷第七號十錢東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會）

●東京經濟雜誌　重要記事十數種「麥酒の需用」「支配人の技師」「冗員淘汰の方針」「工場改善の方法」等は特に讀むべしとなす（一千五百一號十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●貿易　內容は豐富には非ざれど最近貿易に關する事情は細大漏さず掌指すが如し久保田氏の「滿洲の產業と貿易」に苟も眼を滿洲の貿易に注ぐものゝ讀むべき文字なり（第十卷第七號十錢東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會）

●東京經濟雜誌　重要記事十數種「麥酒の需用」「支配人の技師」「冗員淘汰の方針」「工場改善の方法」等は特に讀むべしとなす（一千五百一號十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●●●

美術半衿帶上帶締其他紐類各種新荷着夏物大安賣　京城南治町一丁目　㐂ゑり德商店

（二）（月曜及祭日の翌日休刊）（明治四十二年八月六日）　京城新報　（金曜日）　第百八十號

京城新報

官吏の腐敗

題して官吏の腐敗と云へ、炎暑酷烈の時期の問題と論議するは甚だ著若なれ、然れども官吏の風紀紊々として堕敗しつゝあるを見ては之を看過する能はず、官吏の腐敗は官紀紊亂の基、官紀の紊亂は事務溢滯の基事務の溢滯は轉て惡政に流るゝの憂あるを意味す、是れ曾に風紀問題に非ずして政務の滯貶に關する問題也、韓國の官吏は數百年來の陋習浸染せるを以て其腐敗は容易に脱する能はざるべしと雖も、君子國を以て誇りとする邦人官吏にして風紀紊れて韓人官吏と採む所なきに至りては、曾て宗主國の威信を傷るのみならず、我が保護政治の進展を阻害するに至る也、殖民地の官吏には兎角惡風は免れず抔と輕々に看過す可らず、俗吏の腐敗―畢竟た小なるが如きも其影響する所は頗る大也、見よや京城に於ける邦人官吏の狀態を、其生活の比較的驕奢なる、其妻女の華美に過るの裝ひ等は未だ必ずしも貴びべきに非ざるも、淫蕩の風氣にして得る所の俸給を擲げて酒色に費すが如きものも少しとせず、此輩にして唯之に止まらしめば尚可なりと雖も、其心更に驕りて得る所の俸給にては充分に酒色の慾を充たす能はずとして、不正の手段を講じ官金を費消し、或は官文書を偽造して金を得んとするに至りては最早恕すべからず、一方には亦殖民地に官吏となりて來る須く金儲をなして富を造らざる可らずとなし、一意專念利殖の道に熱心し日々の勤務は却て副たるが如く心得るものあり、斯る輩は御用商人と結托するか或は高利貸をなす、中には唯俸給を貯蓄するのみにては手綏となし、或は俸給のみにては其驕奢及虚榮心を充たす能はずとなして、市中の無賴漢と伍して賭博をなすものあるに至りては風紀の頽敗も亦甚だしからずや、是れ單に風說に止るに非ず、日々の新聞記事に徵するも實際此等の徒の少なからざるを知るに足らむ而も新聞紙に現はるるものは其一部にして其現はれざるもの頗る多し、彼等は官衙にありては鹿爪らしき擧措をなし居るも、度清機に入り或は賭博をなすときに當りては直に其品性の下劣を暴露す、彼等が官金を費消し官文書を偽造し或は高利貸を內職とするに至るも暴竟は其品性の下劣なるが爲なるべしと雖も、一は周圍の境遇に化せられて墮落せるが爲也、今にして斯る奴輩を黜けざれば惡風紀は益々蔓延するに至るべし、斯る深淵に墮落せるものは些少の懲戒を加るも何等の効力なし、寧ろ斷然放逐するを可なりとす　此沼々たる風紀の壞敗を洗滌するには森嚴なる所置を採らざる可らず、徒に一片の譴責をなすが如き事にては到底矯正する能はず、敢て當局者の大なる勇斷を望む。

北京電報

▲錫總督の決心

東三省總督錫良氏は今後盛んに間島の經營を爲す決心にて日本の設備に三倍する豫算を編成せりと

▲安奉問題と列國

我が國の安奉線問題に對する態度は列國に於ても大体に同情を表し列强も亦直接清國政府の頑冥に對し好意的警告を與へ反省を促したり（五日東京經由）

▲安奉線改修斷行

安奉線の改修工事は清政府の態度如何に拘らず斷々乎として所信を遂行する方針にて其の工程は全線を十四區に別ち同時に着手する筈にて該功は二年半を要すべし當分の內支那、韓國、西比利亞又は以上の各地經由して生牛を輸入する事を禁止せるが右は但し食用の目的を以て輸入するものにして檢疫を受けたる後其に檢疫官の指定したる屠獸場にて屠殺するもの及び韓國政府にて日本政府の同意を經て定めたる檢疫所及び檢疫方法に依り行ひたる檢疫の證明書を有するものは此の限りにあらずと本月五日公布せらる本令は九月一日より施行せらる（五日午后東京經由）

▲生牛輸入禁止

東京電報

▲安奉線工事準備

滿鐵にては安奉線改築に關する煉瓦、セメント供給より一切の件に就き請負者と契約を了し命令一下次第工事に着手すべき萬般の準備整ひ居れり

▲北白川宮の御慶事

去四月北白川宮殿下に御婚嫁相成りし房子殿下には目下姙娠四月にて來年二月御慶事あるべく兩陛下にも御滿悅の由に承はる

▲所信斷行逼迫

我政府は安奉線問題に對し日露限り清國政府に最後の確答を促し今は唯だ清國に對し改築工事に關する最後の通告を發する一途にあるのみにて我政府が所信を斷行するは愛數日の內にあり

雜報

●韓國の治外法權（條約締結の交渉中止）

日米間の韓國に於ける商標保護條約に倣ひ昨年來英、佛、獨諸國と我國との間に同條約締結の交渉中なりしが今回の日韓覺書により韓國の司法權を擧げて我國に委任する事となりたる結果列國が韓國に於て有する治外法權は遠からざる將來に於て撤去さるゝ望あり又一面に於ては韓國に於ける商標保護が一日を爭ふ程の急務にもあらざれば此際種々の手數と面倒とを見て條約を締結し一部の治外法權を撤去するの必要を認めざるにより此程該條約締結の交渉を中止せりといふ

●大審院設置

司法權委任の結果在來の韓國大審院は廢止せらるべきも韓國人に對する裁判に關し法の適用を統一するが爲め新たに我大審院を設置することゝなるべしと云ふ

●韓人日官問題

韓人を日本帝國政府の官吏に採用することが慣法違反なるや否やは別問題として或一部の論者は韓人を帝國政府の官吏に採用することは明治三十八年四月一日帝國政府と韓國政府との間に交換せる韓國通信機關委托取極書に韓人を日本官吏に採用すると の條項あるを以て已に前例ある以上は今回成立せる司法權委任覺書に因り韓人を在韓日本裁判所の裁判官及監獄の官吏に採用することは毫も差支なしと主張する由なるが彼の通信機關委托書中の明文は決して韓人を日本政府の官吏に採用することを意味したるものに非ずして其條文は左の如し

韓國通信機關委托取極書

第六條　第二項、日本政府は管理及擴張の業務に關し可成多くの韓國官吏又は使用人を用ゆべし

●曾禰統監病氣輕快

曾禰統監の病氣は日々快方に赴き未だ登廳せざるも官邸に於て事務を聽き居れりと

●石塚長官代理全癒

病氣にて引籠り中なりし石塚總務長官代理は全癒し五日より登廳したり

●荒井次官の東上

荒井度支部次官は五日朝不破事務官を隨へ東上の途に就きたり

●大屋長官の東上

鐵道廳大屋長官は韓國鐵道所屬變更問題に關する政府の召電に依り近々歸朝すべしと

●地方費と外國人

地方費を外國人に課するや否やに就ては三稅と其性質を同一にせるを以て之れが適用の上に於て目下考案中なりと

●私立學校奬勵補助

各道私立學校中其成蹟良好なるものに對し學部は今回一道に一校を撰定し奬勵補助金を下附すべき旨訓示と發したり

●武官學生日留學數

武官學校解散後學生等は日本留學の件に就き協議したるに全員四十八名の中五名の留學不費成者あり結局四十三名丈留學に決したりと

●通譯兼掌者手當

韓人宮內判任官にして日語に通ずるもの及日人の判任官にして韓語に通ずるものに對する特別手當支給の件は三日布達第十號を以て規定せられたり

●無効宣言請求控訴

蔓に峰岸繁太郎より東拓會社に對し提起したる總會無効宣言請求の訴訟は第一審に於て原告の敗訴に歸したるを以て更に四日付にて統監府法務院へ控訴したり

●統監府重要會議

統監府にては五日午前十時より石塚總務長官代理を初め岡內部次官、倉富法部次官、鈴木度支部次官代理、國分秘書官、中山書記官、兒玉會計課長等列し司法權委任準備に關する件其他緊急重要問題に就き午後二時迄會議するところありたり

●間島電信の不通

京城間島間の電信は長興を經由する事となり居れるが成興以北間島龍井村に至る間の電柱破壞したる爲め昨日來間島との電信は全く不通となりたり其原因は水害の爲めにして目下復旧工事中なりと

●吉長借款協定

（全部の落着は未定）

吉長鐵道借款協議は鐵道收入金の預入は在瀋州の構濱正金銀行支店とし利子は清國の主張通り一定の利息を附する事に決定せしも事は既電の如くなるが右協定は委員相互間に調印を了したるものにて清國政府の承認を經て全部の落着を告ぐべきやは未だ明かならずといふ

●清兵間島增置

清國は奉天より步兵一萬、昌圖より砲兵一部隊を間島方面に送りつゝあり此事最も秘密にして當局者以外は官憲と雖も知るものなしとの風說盛なり

●來遊外人消費高

來遊外人が韓國に來りて消費したる最近調査の金高は合計百〇九萬七千〇九十五圓の由にて渡來人員と來遊人員との割合は日本人約二割七分、支那人及其他外國人約一割八分なりと因みに渡來して稱するものゝ中には韓國人[illegible]したる者も含む

●上半期獸疫發生數

農商工部の調査に依れば本年一月より六月末迄の全國獸疫數は牛畜の發病一千二百六十頭內恢復六十四、死一千〇四十四、撲殺六十六、報告未接八十六、馬發病十二、斃死二十二、豚發病二百九十六、犬發病十三、全部撲殺、炭疽發生二百六十頭中牛九十五、馬一頭、豚十七、狂犬病十五、牛一、豚一、犬十三なるが本表以外の獸疫發生數にして報告に接せざるも本表掲載數より尚多かるべしと

●俵學部次官歸任

俵學部次官は馬山より四日夜歸任したり

●一銀引繼の難物件

第一銀行が韓國銀行に引繼ぐべき項目の中困難なるは引繼の前日迄に振出したる取立手形の拂き達隔の地方に振出したる場合に於て其金は之を第一銀行にて受領するやは豫め協定し置くべき重要問題にして斯る事例は最も多かるべしと云ふ

●統監府重要會議

統監府にては五日午前十時より石塚總務長官代理を初め岡內部次官、倉富法部次官、鈴木度支部次官代理、國分秘書官、中山書記官、兒玉會計課長等列し司法權委任準備に關する件其他緊急重要問題に就き午後二時迄會議するところありたり

●間島電信の不通

京城間島間の電信は長興を經由する事となり居れるが成興以北間島龍井村に至る間の電柱破壞したる爲め昨日來間島との電信は全く不通となりたり其原因は水害の爲めにして目下復旧工事中なりと

●吉長借款協定

（全部の落着は未定）

吉長鐵道借款協議は鐵道收入金の預入は在瀋州の構濱正金銀行支店とし利子は清國の主張通り一定の利息を附する事に決定せしも事は既電の如くなるが右協定は委員相互間に調印を了したるものにて清國政府の承認を經て全部の落着を告ぐべきやは未だ明かならずといふ

●來遊外人消費高

來遊外人が韓國に來りて消費したる最近調査の金高は合計百〇九萬七千〇九十五圓の由にて渡來人員と來遊人員との割合は日本人約二割七分、支那人及其他外國人約一割八分なりと因みに渡來して稱するものゝ中には韓國人[illegible]したる者も含む

●上半期獸疫發生數

農商工部の調査に依れば本年一月より六月末迄の全國獸疫數は牛畜の發病一千二百六十頭內恢復六十四、死一千〇四十四、撲殺六十六、報告未接八十六、馬發病十二、斃死二十二、豚發病二百九十六、犬發病十三、全部撲殺、炭疽發生二百六十頭中牛九十五、馬一頭、豚十七、狂犬病十五、牛一、豚一、犬十三なるが本表以外の獸疫發生數にして報告に接せざるも本表掲載數より尚多かるべしと

●俵學部次官歸任

俵學部次官は馬山より四日夜歸任したり

●大坂火災と郵便物

大坂大火災は當地人士と大坂とが密接の關係を有する丈郵便物にも非常の影響を與へ京城郵便局が引受けたる大坂行郵便物の數は左の如き多數となりたる由尚ほ電報は不通の爲め不明なるが爲替には多大の影響を與へざる由

一日端書	三、〇〇三	封書　三、七〇八
二日同	二、四一三	同　四、〇六一
三日同	三、〇〇三	同　一、七九九
四日同	三、六九二	同　二、八四二

●一銀引渡準備多忙

第一銀行にては引き渡しの爲め目下その準備に繁忙を極めつゝあるが來る十月中旬迄

●各銀行上半期概況（其四）

漢湖農工銀行

支配人　久能省三

資本金	四十萬圓
政府貸下金	三十二萬九千二百圓
積立金	二万千四百圓
利益配當	年一割二分
貸出金	百萬圓餘
預金	四十八萬圓餘

上半期營業景況

昨年來經濟界の不振は延て本期初頭に至りて愈々甚だしく眞に沈滯の極に達し加るに米穀下落の爲に一層商況の不振を來たし韓人の破產するもの少からざる悲慘の狀態なりしを以て貸出金の如きも頗る慎重の態度を取りたる爲眞に寥々たるものなりき然るに四月半頃より銀相場の昂騰と滿洲大豆が多く歐洲に輸出さるゝより支那商人の資金を要するに至りし爲に稍活氣を呈し且本期末に於て米穀相場の稍々上向なるとより金融界は稍活潑に趣きたるも未だ以て經濟狀態の回復し來る兆と云ふ可らず唯一時の小好潮にして本期初頭の沈滯に比して稍優ると云ふの營業方針は今日の如き險惡なる經濟狀態のときに於ては利益を擧るに過らず極て安全の方法を取る

貸出金は保證手形商業手形は三分の一位にして他は確實なる不動產等の擔保なり商業手形は支那人三分の一を占む

貸付日歩は四錢より五錢五厘に至る

支店は春川、開城、太田、忠州、江景にあり、其中春川は面白からざるも他は總て成蹟良好にして殊に江景の如きは最も良好也

●小作人組合の施設

韓國有田畑小作人は金國を通じて約二十万あり度支部にては之等を奬勵して其經濟を發達せしめん爲めに小作人組合なるものを設置せしむる計畫中なりしが目下實施せるは咸方面に於て二三箇所あるのみにして他は未だ報告に接せざるも之等は地方金融組合より資金を融通せしめ肥料、苗子、農具の改良及貯蓄等を奬勵し漸次其位地を改善せしめん筈なりと

●三島韓國一銀支配人の談片

三島韓國一銀支配人の談片なりとして左の如き通信ありたり

▲大阪の火災と金融

大阪の火災が當地經濟界に及ぼすべき影響如何といふに元來目下夏季に際し取引の閑散なると罹災區域が不幸中の幸にして商業の中心地を避けたるの二事は當地經濟界にさしたる影響を與ることなかるべし

▲金利低落

本邦に於ける金融の緩漫は頗る金利を低落せしめ有利なる事業に向て放資を望みつゝあるは多く云ふを要せざるも韓國にありては過渡時代を去るを遠からず且つ農本位にして商業の不活潑なるの事實は金融の反應頗る遲鈍にして金利の昂低も甚しからず然れども之を十年前より考る時は其間一道の脈絡ありて金利は漸次低下しつゝあること疑ふべからざるなり

▲觀察道移轉

近時政を爲すもの觀察道廳の移轉を唱ひ現時各道の所在地を交通至便の地に移轉すべしと主張し當局の間にも此說有力なるものゝ如きも之等は再考を要すべき問題なり或程現在に於て觀察道を一般に至便の地に移すは一般の利便多かるべきも之が爲め治道の急用を忽にするが如きあらざるか云ふ迄もなく今日韓國開發の急要は交通と運輸機關の發展にあり觀察道の不便の地域に存するは偶を以て道路の開設を自然的に急速ならしむべく促進せしむるものにあらずや桃李花蹊自ら徑をなすの語は味ふべきの言ならんか予は强ち反對するものにあらざるも須らく愼重の攻究を要すべき問題なりと信ず

▲資本家の放資を望む

在韓實業家は韓國に起るべき諸種の大事業の企畫者として必ず資本家が續々渡來して諸種の事業を企畫すべく奮起を要望して止まざるなり

●中桐技師の北韓出張

南韓地方工事視察中なる中桐技師は召喚によりて歸任したるが南三日の內濟津羅南間忠工の爲め同地に出張し登滿江に通ずる道路落成迄北韓に駐まる筈なりと

●米國總領事歸國

米總領事サンモンス氏は來る十三日賜暇歸國の途に就かるべし

●明石少將官舍移轉

明石少將は專任軍顧を發見せりと亞弗利加に金剛石の本場也

▲我領

地にも金剛石を發見したきものと

●永濱醫三氏

關稅廳長鮮任後の同氏が新設韓國銀行の理事たるべしとの說は信ずべきが如し

●文武官の叙勳

七月三十一日付を以て左の如く叙勳せられたり

日本國內大臣秘書官勳三等　日高　秩文

特陞叙勳二等八卦章　日本國滿洲艦長海軍大佐　中島市太郎

特叙勳二等八卦章　統監府技師勳四等　小山　善

特陞叙勳三等瑞八卦章　宮內大臣秘書官　森　泰二郎

特叙勳四等瑞八卦章

公人　私人

▲長谷部言人（京大醫科大學助教授）浦尾へ投宿中四日仁川

▲早川省三（農商工部技師）中四日漢城

▲塚本信治（統監府特許局審査官）右屋、京都、大坂、廣島、佐賀へ出張を命ぜらる

▲黑岩休太郎（農商工部技監）夏期休暇を利用し五日朝東上す

近事片々

▲言ふまいと思へど今日の暑さ　故實際暑

▲今日の暑では堪られぬ　併是も亦愚痴なる故

▲流汗淋漓一枝のペンを命毛として卒に對し原稿を草す　實に是れ額汗バンを得る

▲唯だバンを得るならば新聞記者程愚なるはなしペンに命あり世を警醒す是乃命也

▲暑中休暇を利用して夏期講習會を山紫水明の地に開けとは頭者本紙の主張せる所

▲偖て今頃の費用にて此儘をなせば多數の費同あらむ基督青年會が發起しては如何

▲肉体の保養も肝要なれども靈の保養も亦肝要也夏期講習會は眞に之に應ずる者也

▲涼清　問題は愈々急なるが如し炎熱螢を溶かすの時期なることは聞くだに暑つくるゝ

▲雖然極東の大事件暑くるしとも聞捨てには成らぬ即ち平和の解決こそ望ましき

▲如何に清政府と雖も最早自己の曲なるを悟るに至らむ深省すれば事は立所に決す

▲座雲急なりと雖も平和を破るの憂なし

清國亦人あり決して馬鹿なる眞似はすまじ

▲間島不穩の徵あるを爲に居留邦人四十余名清津港に引揚げたりとの報は事實なりや

▲若し事實なりとせは速に善後策を講じて在留邦人を安んぜしむる事なかる可らず

▲然らざれば其間誣說流報頻りに傳はりて韓人等驕慢の口術となる大に戒慎すべし

▲司法權委任に就て列國の治外法權撤去近きに行はるゝ望ありと是れ至當の順序也

▲日本官憲今回販路擴張を講じ滿韓に大發展を策す果して英米烟草に對抗し得るか

▲英米トラストの商法振は無論其品質に於ても比較的良好官烟大に振はざる可らず

▲閔宮相平安道の朴某より忌はしき名目にて京城裁判所に告訴せらる果して事實か

▲苟も宮相の聖職に居る同氏に斯る事實はある筈なし片々は其ならむ事を望む也

▲獨逸亞弗利加に今度新にダイヤモンド金剛石の本場也

▲我領地にも金剛石を發見したきものと

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

（日刊）月曜及祭日翌日休刊　明治四十二年八月六日　東京新聞報　（金曜日）　第百八十八號　（三）

▲相談の相談▼

（何でも御相談に應じ升）

◎問　私は今年二十九に成ります現在は別紙記載の會社に奉職致しまして月額二十六圓を貰ふて居りますが私の働きとして又會社の經濟上決して不服の申せる一家の經濟が支へられませぬ、老父母に妻子供が二人小生を加へて六人、勿論私の子ですから皆幼少で有りますが老父母が面倒を見て呉れますので妻は内職に洗濯裁縫などを致して夫には平均十圓の收入は有りますが此れは衛生費や家賃、費て終ひますから生活費は私の廿六圓で支へなければ成りませぬが如何云ふ風に致したらば宜しからう御相談を致します（腰弁生）

◎答　成程、れ樂では無い樣ですが併し整理の餘裕は充分に有ると思はれます、其所でモ一度御面倒でも先月の支出諸經費表――クマリ收支決算表ですな、夫れを見れば道は下さい詳細に研究して見ます貴君れ、一方の爲め計りでなく、都合に依れば氣に入らん事も申し上げますよ、前以つて御承知の上（係）

◎問　德壽宮と現度支部との間の道路上に大廓架がありますのは御承知でしようか往來から見上げたる其中央に菊の紋章が附してある彼れは何んの意味があるのか僕は例の雜纂が呪咒の意味を以て描かしめたのでは無いかと思ふヨボの靴に踏み附けらるゝ床板の裏に如斯紋章を附けさして置くのは僕は無念に思ふ何う致した者か相談をします（通行人）

◎答　或は君の云はれる樣な意味があつたかも知れぬが即國帝室の御紋章とは大分相違して居る、彼は瓣が廿四あつて更に花が八重に成つて居る我、帝室では十六瓣で單花です、取り除かせるのは統監府から云へば直きだが、何に然う齒牙掛けて可らず、往來からは萬民仰ぎ見る所にあるのだからね（係）

●宋秉畯氏を落す

▲安藝妓を連れて避暑

渡韓後の宋秉畯に就て二三近來更に前記を聞かざりしが最近某社友の報する處に依れば彼れは先き頃赤阪邊の安藝妓を連れて温泉酒匂へ避暑と洒れ込み手製の朝鮮料理で舌鼓を打ち居りしが先般韓太子東北巡遊に已れも供奉せんと申出でたるに伊藤太師より美事に跳ね付けられたれば負け氣の宋は大に憤慨し自慢の美髯を惜氣も無く剃り落し山縣公や桂侯の門に頻りに出入し府から云へば面きだが、何に然う齒牙掛けて更に花が八重に成つて居る我、帝室では十六瓣で單花です、取り除かせるのは統監府から云へば面きだが、何に然う齒牙掛けて可らず、往來からは萬民仰ぎ見る所にあるのだからね（係）

●宋秉畯髯を落す

▲安藝妓を連れて避暑

渡韓後の宋秉畯に就て二三近來更に前記を聞かざりしが最近某社友の報する處に依れば彼れは先き頃赤阪邊の安藝妓を連れて温泉酒匂へ避暑と洒れ込み手製の朝鮮料理で舌鼓を打ち居りしが先般韓太子東北巡遊に已れも供奉せんと申出でたるに伊藤太師より美事に跳ね付けられたれば負け氣の宋は大に憤慨し自慢の美髯を惜氣も無く剃り落し山縣公や桂侯の門に頻りに出入し

●鉛入指輪で詐欺

仁川港碇泊中の漁船乘組員廣島縣生れ水主澤菊松（三十）と云ふは大阪の新聞に二圓位の純金指環の廣告あることを見て友達の鈴木某に托して其の一個を購入せんとしたるが去月中に四個を送付し來りたれば十七圓を受け取りたるが品物が餘り能く出來て居る所から玆に一策を案じ其の一個を携帯して本町四丁目中島質店に至り三匁五分あれば十三圓を借り又他の四匁のもの一個を同

●宋秉畯髯を落す

▲安藝妓を連れて避暑

渡韓後の宋秉畯に就て二三近來更に前記を聞かざりしが最近某社友の報する處に依れば彼れは先き頃赤阪邊の安藝妓を連れて温泉酒匂へ避暑と洒れ込み手製の朝鮮料理で舌鼓を打ち居りしが先般韓太子東北巡遊に已れも供奉せんと申出でたるに伊藤太師より美事に跳ね付けられたれば負け氣の宋は大に憤慨し自慢の美髯を惜氣も無く剃り落し山縣公や桂侯の門に頻りに出入し

●仁川賭博犯の罰金二百圓

仁川賭博犯の公判は昨日午前十時仁川理事廳内にて判決の言渡しありたるが小笠原忠一、小林松太郎の兩名は罰金二百圓、鶴井芳雄、鹿江俊雄の兩名は罰金百五十圓に處し何れも有罪と決定す

▲何れも有罪と決定す

仁川賭博犯の公判は昨日午前十時仁川理事廳内にて判決の言渡しありたるが小笠原忠一、小林松太郎の兩名は罰金二百圓、鶴井芳雄、鹿江俊雄の兩名は罰金百五十圓に處し何れも有罪と決定す

山岡利平は同百圓に處し何れも有罪と決定す

仁川賭博犯の公判は昨日午前十時仁川理事廳内にて判決の言渡しありたるが小笠原忠一、小林松太郎の兩名は罰金二百圓、鶴井芳雄、鹿江俊雄の兩名は罰金百五十圓に處し何れも有罪と決定す

山岡利平は同百圓に處し何れも有罪と決定す

仁川賭博犯の公判は昨日午前十時仁川理事廳内にて判決の言渡しありたるが小笠原忠一、小林松太郎の兩名は罰金二百圓、鶴井芳雄、鹿江俊雄の兩名は罰金百五十圓に處し何れも有罪と決定す

山岡利平は同百圓に處し何れも有罪と決定す

●釜山の名物藝妓

釜山の特別郷は永福樓に永福と云ふ年增女あり同人は名古屋生れで同地の遊廓より初めて左褄を取り後熊本に轉じ其れより滿州で名高き伊豫の遊妓の倍線者にて中々全盛を極め其名のれ雪のろれの如く彼れの肌は雪の如しとて當時流行せ　サノサ節に「辛苦して一手二手の罪重ね、去年の冬より客持てヤット世に出る夏氷りつい融け安い雪の肌」と道後、松山邊の花柳の巷に盛んに唄はれたる程なるが其後戦爭に際し一攫万金を夢みて釜山に來り前記永福樓に現はれ一時は其繁名を唄はれたるも彼れも本年三十五歳の姥櫻寄る年波に何時しか色も褪せ果て昨日の榮華は今日の夢覺た今昔の感に堪へざるものありしと然るに玆に先き頃當地の某大身が同地の紳士に誘はれ一夕の歡を同樓に遊したる際永福も側に侍りしが件の大身は一本の扇面に「樓の名にちなむ妓侍薫衣香」と筆跡麗しく書き與へければ永福の喜悦例ふるに著なく娼賣の身の冥加に餘る事なれば永く〳〵紀念として保存せんと喜び居れりとかさるにても風流紳士の名を逸したるこそ遺憾なれ

●清人の強盜殺人

去る七月十九日の事なり平安北道昌城郡東倉面より北鎮に通ずる路上に於て清人柳元德及其長男の二人酒買入れの爲め清村河口に赴く途中清人七韓人一の賊現はれ拳銃を亂射して右二人を殺害し百五十圓を奪取し去りたるが右賊は其前に梨木里附近に於ても支那行商人より三百圓を强奪したる事あり

●清人韓人を殺す

七月二十七日午後十一時過ぎ三名の清國人平安北道龍川府揚西面黄陳熙方に至り宿泊せんことを强請したるも之を應せざりし爲め清國人は拳銃を以て黄の胸部を射撃し即死せしめ木綿三反金二圓を奪取し逃走せりと

●受賞者行衛捜索

横濱市吉岡町一の六元第二大安丸大工日野原仙藏と云へるは去る三十七八年戦役に依り行賞あるべき筈なるに其後渡韓し本町七丁目に居住する由なるが果して居住し居るや否やに付き南部署に問合せありたる心當りの者は同署に申出づべしと

●靴と金の拾ひ物

一昨日午後二時頃本町通に於て編上靴半足同日午後九時永樂町二丁目に於て財布中一圓除外に鍵七個を拾得して届出し者あり心當り者は南部署迄

●東檢番の新妓

名古屋生れ三木トク（三）は昨日より小勇と名乘り開進亭より東檢番に現はる同妓は本年二月より三月迄僅か一ヶ月同亭にて勤め居たるものなりと

俳優評判記（四）

姫廼家きみ子

目下歌舞伎座で立女形を務めて居る西井錦太郎と云ふは伊井容峯の畑に育つた東京仕込み、妖艶賞て可き女形である少しく手勝手の理屈を付け强ひて舞台を氣取り青年の眞の悲哀を味はすして物質的快樂にのみ沈溺せる彼等のあはれさよ、予は唯思ふ

顔形の上に磨きを飾ひ如何に絶世の美人と雖も面皮一重をはがばに乏しい故悲劇の主人公たる女性には聊か敢て當人と異らざるを不適當だ、作りは毒婦として宜しいが立廻りが餘り上手でない、先づ藝妓上りの夫人にでも扮したらば最も適當するであらふ如く妖艶なる爲め舞臺に出れば確かに他の俳優を喰つて居る、尚ほ同人が四年前元の京城座に來た時前きの内部大臣宋秉畯の野田平が嬬魂惚れ込んで是非俺れに閑旋せよと云ふ事を覺りしがそれが爲め大變に最負けと云ふので廣員の某はアレは男でございまと云ふも野田平中々承知せず彼れが扮裝の儘手を取つて自宅へ引張り行き初めて男と云ふ事を覺りしが爲め大變に最負を受けたと云ふ珍談がある

演藝

▲歌舞伎座　彰義隊一座本日の替りは「刑事の苦心小櫻れ玉」全七場にして役割左の如し

小櫻れ玉（西井駒右ちよ（桂木）松本秀之助（河野）火の玉勘治（角村）銀い員井上（玉川）喜藤貫（中村）梁川清、大和）松本政明（松村）由兵衛（小谷）れ（小神）銀行員加藤（天草）作造（有村　松本健之助、愛澤）掬換の虎（本下）源お衛（美崎）小狐久治（篠崎）

▲帝城座　梅花美團合明南日の替りは「除隊兵」にして役割左の如し

梶憲兵（佐横山）休喊陸軍（佐（松村）荒川大尉吉野（神田伍長（眞部）佐久（川七等兵（部）松山時夫（東）片桐、若尾政五郎（瀬川）甚兵衛（眞部）（横田）

食

▲壽町二丁目へ食道樂さかる

△新料理屋か出來た色氣なしの御手家で云ふ新料理屋で一寸覗いて見た成程輕料理專問と云ふので雅致に富んで居る自分の行たのは夜中であつたが先づ沐浴を勸められ新らしい浴衣に着替へ欄干に依れば庭園に隙燈、角燈、風雅さ、仰ぎ見れば月に向て吹き込む南山の夜景も一入面白く涼しい風に誘はれた南山の夜景も一入面白く涼しい風に誘はれた南山の夜景も一入面白く涼しい風

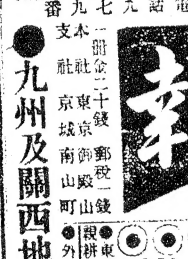
△此の種の投書を歓迎す

▲阪に大火災わりしより同市民の當地に移住するもの少くも五百を下らざるべしとの見込みを以て當地家主連は從來少々宛引き下げつゝありしも家賃を反對に二割若しくは三割方を引き上げんと申合はせたり尚留民諸君此の姿勢行の期接せば一同申合はせて家賃を反對に二割若しくは三割方を引き上げんと申合はせたり尚留民諸君此の姿勢行の期接せば一同申合はせて

廣告

◀平民文庫

▲東京富士の里茶舗　電話七九一番　本町二丁目　小賣卸



●紳士遊興振

右は紙面の都合に依り本日休載

●天氣豫報（自五日午後六時）（自六日午後六時）

北東の風晴れ　最高溫度　最低溫度　九一、八　七〇、二　四日（華氏）

●九州及關西地方並韓國に於ける本誌の大勢力を見よ

韓國農商月報

八月五日發行　第二卷八月號

●改題せられたる本誌八月號を見よ

◎仁川築港を論じて當局に肉迫す

◎統監曾禰子に望む

◎曾禰統監を論ず

◎故酒匂博士を悼む

◎日韓の人物

◎社會史……（百面觀）

◎日韓名士の半面と其談話振り

對篠塚社長

◎世には這麼恐ろしい主人も有り

◎就職難救濟する唯一の方法

◎所謂富豪家の態度

●韓國監獄の移轉

●配達出拂　午後七時

●夏期講習會の終了　師範學校に於ける

●負債商組合役員　負債商組合に於て

●負債商組合役員　負債商組合に於て

●米國總領事の訪問　米國總領事は五日文部省參事官渡邊董之介氏の用向は後來東京に於て印刷しつゝある韓國教科書の審査及監督、書肆への交渉方韓國政府は今回鐵路及西大門外に於る監獄

●韓國監獄の移轉

●吊慰料下賜　陛下より伊藤

●宋秉畯髯を落す

▲安藝妓を連れて避暑

渡韓後の宋秉畯に就て二三近來更に前記を聞かざりしが最近某社友の報する處に依れば彼れは先き頃赤阪邊の安藝妓を連れて温泉酒匂へ避暑と洒れ込み手製の朝鮮料理で舌鼓を打ち居りしが先般韓太子東北巡遊に已れも供奉せんと申出でたるに伊藤太師より美事に跳ね付けられたれば負け氣の宋は大に憤慨し自慢の美髯を惜氣も無く剃り落し山縣公や桂侯の門に頻りに出入し

EDP　品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の土耳古・埃及金口莫及葉卷　各種（百本入七十五錢以上）大安賣　本町二丁目　小賣速に御來店御試み給へ　見本無代　直輸入商　日希商會

▲無料紹介欄▼

人事部

●行商人募集 石油行商人二十五歲以下身體强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者 本人來談 龍山元町三丁目鶴組(二〇七)

●英文代書 通譯應屬 本町一の七五中村

●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店(武田質店)(四一〇)

●被雇度 年廿九市內に孫賀保證人有韓語に通ず不問職業被雇たい氏名在社(四一三三)

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名右社(四一二二)

●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歲市內相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)

●下女入用 年齡三十歲より四十歲迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)

●被雇たし 月俸壯五圓以上を望む通信事務韓語翻譯中等教育年廿四不問職業 氏名在社(四一八)

物件部

●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)

●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家貸面談 氏名在社(四一五)

廣告

各種洗濯石鹼 專門製造販賣 用途 陸軍、鐵道、船舶、繃帶、散髮、諸工業用 京城旭町二丁目 (電話九七三番) 朝日石鹼製造所

歐米雜貨 洋服毛織周衣地各種 明治町一丁目 建部商店

東京 正札付 大安賣 厘も引なし 安心して買へ升 本店東京 京城大和町一丁目 日の出橋横 大和屋 藤井出張店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 京城旭町一丁目六十七番戶 辯護士 田榮 (電話三九八番)

E 運 E

貨物運送取扱 危險擔保 關稅附送 貨物取扱 品代金付 引換物送 發送運行

內國通運株式會社

京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番

仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番

草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話五三七番

龍山驛構內 龍山派出所 電話一〇六番

營業科目

活版活字鑄造 石版彩刷 木版彩刷 ロータイプ版 寫眞版 雕刻版 製本裝釘

今ハ日韓印刷株式會社ト改稱 敢テ大勢ノ趨ニ新經營ノ下ニ從業致シ 諸賢愛顧之幸願上候也

日韓印刷株式會社 本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番) 東京出張所 東京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

東京生そば 轉御披露 東京庵 京城凡町三丁目十六番戶(三日月湯下隣) 電話九五五番

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賜々敷御投宿の程御願申上候 壽町二丁目十番戶(元花屋跡) 横小路 かめ屋

▲懇切の下宿▼

◎氣候變化=牛乳 ◎牛乳=純良=消毒 韓國畜產株式會社 南大門外(電話八八番)

懷中藥 代理店 京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番 京城本町三丁目 電話四七八番 新井藥房第一分店 京城南大門外 新井藥房第二分店

THE JINTAN 仁丹 完全ナル 懷中藥 代理店

梅毒 ボウ毒病 リウマチス 新藥 毒滅 各驅梅藥 日本醫士七名の證明 本舗 大阪 博愛藥房 各驅梅藥醫院驗證

物件部 ●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)

●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家貸面談 氏名在社(四一五)

廣告

●被雇度 年廿九市內に孫賀保證人有韓語に通ず不問職業被雇たい氏名在社(四一三)

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名右社(四一二)

●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歲市內相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)

●下女入用 年齡三十歲より四十歲迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)

●被雇たし 月俸壯五圓以上を望む通信事務韓語翻譯中等教育年廿四不問職業 氏名在社(四一八)